

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

## ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団
公演団体名	新国立劇場合唱団

内容
<p>本事業の新国立劇場が行う実施内容については、「本公演自体の総合ワークショップが非常に大きな位置を占めるプログラムとなっております。導入となる事前ワークショップとその仕上げとなる公演に含まれる総合ワークショップにより、その後の校内行事でも「校歌」(愛唱歌)を楽しく歌うことが出来るようになっていただき、学校生活を生き生きと過ごせるような体験をしてもらうよう考えております。</p> <p>具体的には当合唱団の指揮者が姿勢や顔の表情、呼吸方法から説明をして基本的な発声の指導を感染症対策をして行います。わかりやすい解説とともに、合唱団メンバーの圧倒的な声量と高度な技術を手本として指導してまいります。通常の話し声とオペラの発声との違い、校歌や愛唱歌を題材として自分自身が楽しく歌うこと、仲間と歌うことが楽しめるように指導を行います。自分が声を出すこと、仲間のパートを意識すること、「一緒にものごとを作り上げることの楽しさ」を感じていただくように考えております。</p> <p>ただし、実際に発声することが困難なため、コロナ禍の中で新国立劇場合唱団がどのような対応をして公演を行っているか、通常時の公演との違いを説明して指導をいたします。また将来において「マスクを外して歌える」環境になった時のことを想定し、そのための知識・財産になるような指導をいたします。</p>

タイムスケジュール (標準)
9時20分～ 舞台確認及び出演者リハーサル
10時20分～ ワークショップ準備
10時50分～11時40分 ワークショップ (1校時に収まるよう50分に短縮) (ワークショップ開始10時50分の場合の例です。実施校と相談の上、対応いたします)
終了後、本公演に向けての準備に関して、説明・打ち合わせを行います。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
6名 (内訳/指導者:指揮者1名・歌手4名、団体職員1名)

学校における事前指導
<p>実施校において特別な事前指導は必要ありません。ワークショップでは発声のポイントをわかりやすく覚えていただくための歌「発声のころえ」(三澤洋史作曲)を演奏しています。ワークショップ・及び本公演に参加される児童生徒の全校生徒が望ましいと考えており、一部の児童生徒だけではなく、学校全体が歌の喜びを感じてほしいと考えています。ただし実施校ごとの事情を尊重するようにいたします。</p>

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一

## 本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団
公演団体名	新国立劇場合唱団

演目
<p>○各校の校歌演奏（混声四部合唱に編曲）</p> <p>○日本の歌・世界の歌・オペラの世界 曲目：童歌「ほたるこい」（女声合唱） 民謡「ソーラン節」（男声合唱） 各地域に伝わる民謡や唱歌、縁のある曲を合唱に編曲しての演奏 ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」より抜粋 ワーグナー作曲「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱（女声） ウェーバー作曲「魔弾の射手」より 狩人の合唱（男声） ビゼー作曲「カルメン」より 行進曲と合唱（混声）</p> <p>○発声のワンポイントアドバイス 発声練習を実際に行うことが困難なため、歌唱における留意点を平易の表現で、生徒・児童の皆さんにお伝えします。</p> <p>○アンコール 馬飼野康二作曲「勇気100%」</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
<p>23名（内訳／演奏者18名：指揮者1名・歌手16名・ピアニスト1名、 スタッフ5名：演出家1名・舞台監督・3名・団体職員1名）</p> <p>演奏者側の対策として、一定距離（感染症実験に基づくディスタンス）を取るために、 体育館等の演奏会場のスペースから逆算し、16名の歌手での編成となります。</p>

タイムスケジュール（標準）	
9時00分～11時00分	舞台設営及び確認
11時00分～12時00分	出演者リハーサル
12時以降	昼食・公演準備
13時30分～14時30分	公演（60分に短縮）
14時40分～16時00分	舞台撤収
（公演開始13時30分の場合の例です。実施校とご相談の上、対応いたします）	

## 実施校への協力依頼人員

実施校と事前に相談したうえで会場設営や楽屋準備のために若干名のお手伝いをお願いしたいと考えております。ただし特別なこと（上演中に人員を提供していただくようなこと）は考えておりません。

## 演目解説

### ○実施校の校歌演奏（混声四部合唱に編曲）

演奏会の導入に実施校の校歌を合唱で演奏することによって、プログラムへの関心を高めます。身近にある歌が合唱になることによって変化することで歌の多様性と母校愛を感じていただくことも狙いのひとつとします。

### ○日本の歌・世界の歌・オペラの世界

児童・生徒に親しみのある曲を合唱で聴くことによって歌うことの楽しみを感じていただきます。各地域に伝わる民謡や唱歌、縁のある曲を合唱に編曲しての演奏は出身地への愛着心を高めていただくことが狙いです。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演した「ベートーヴェン作曲：交響曲第九番」では高い演奏技術で世界的に評価されている新国立劇場合唱団の演奏を堪能していただきます。またプログラム後半で歌唱・合唱指導が想定される愛唱歌もしくは実施が希望される合唱曲の演奏で学校ごとの要望に答える内容にしております。新国立劇場合唱団の演奏の基盤である「オペラ」においては、小学生に対して「歌いながらする劇」というような解説、中学生に対しては歴史・成り立ちを簡単に説明するとともに、オペラが「音楽」「演技」「言葉」などの複合要素で構成されている総合舞台芸術であることも理解していただきます。

### ○発声のワンポイントアドバイスとコロナ対応

通常は校歌や希望曲の合同演奏を含む発声・歌唱指導を行います。発声練習を実際に行うことが困難なため、コロナ対応歌唱における留意点を平易の表現で、生徒児童の皆さんにお伝えします。

### ○アンコール

児童に人気がある「勇気100%」を演奏いたします。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

従来は児童生徒の皆さんと、校歌や演奏希望曲を「合同演奏」という形で公演に参加していただきますが、手指消毒、マスクの徹底、大声を出さない、等の感染症対策を踏まえ、「鑑賞する」ことに重点を置くこととします。

## 児童生徒とのふれあい

感染症対策を踏まえ、合唱メンバーを生徒と距離をとっての合唱演奏といたします。併せて生徒児童と演奏者の間に「アクリルパネル」を設置いたします。